2024 年度年次報告書 原子・分子の自在配列・配向技術と分子システム機能 2020 年度採択研究代表者

廣田 俊

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授

3Dドメインスワッピングを利用したタンパク質の自在配列と機能化

主たる共同研究者:

重田 育照 (筑波大学 計算科学研究センター 教授) 一二三 恵美 (大分大学 研究マネジメント機構 教授)

## 研究成果の概要

ミオグロビン(Mb)のヒンジ領域にアラニンを 1~3 個挿入した変異体を用いて、アポ型 Mbの 3D ドメインスワッピング(3D-DS)2 量体の安定性とへム挿入の関係を調査した。 Mb の 3D-DS 2 量体 のヒンジ領域のヘリックスの安定性が 2 量体の形成割合に影響することを示し、生体内での Mb 2 量体の形成量が折り畳み反応中のアポ単量体-2 量体の平衡に依存することを提唱した り。抗体 軽鎖#4の可変領域である#4VLは2つの3D-DS2量体により4量体を形成し、単量体と4量体の 平衡状態にあるが、#4C214A のストランド A の Val2 とストランド G(スワッピング領域)の Thr97 を Cys 残基に置換し、異なるプロトマーのストランド A と G で Cys2-Cys97 ジスルフィド結合を導入す ることにより、単量体と 4 量体を安定化することに成功した  $^{2)}$ 。実験において# $4V_{L}$ の 2 量体が検出 されない理由を理解するため、新たに開発した溶媒和に基づく統合主成分分析(3D-RISM/PCA) 法と空間クラスタリングを用いて#4 $V_L$ の 3D-DS 2 量体のシミュレーションを行い、4 量体を形成しな いと# $4V_L$ の 3D-DS 2 量体が自発的に解離することを示した 3)。シトクロム  $c_{555}$  を基に作製した 3D-DS を示す人工タンパク質と紅色硫黄菌シトクロム c'を組み合わせて、還元条件下での CO 添加 や空気下でのイミダゾール添加など、リガンド結合によって超分子化が制御される 3D-DS 2 量体の リング状および直線状集合体を構築した <sup>4)</sup>。空孔を有する安定な正三角形構造の環状タンパク質 を作製するため、開環構造の OP-(c555)3 を作製した後、ソルターゼ A を用いて OP-(c555)3 の N 末 端と C 末端をペプチド結合で繋いで閉環構造の CL-(c555)3 を作製した。CL-(c555)3 は OP-(c555)3 よ り熱安定性が高く、CL-(c555)3 は結晶中で積み重なって、直径約16Åと30Åの2つの細孔を有す るナノ多孔性超分子構造を構築した5。

## 【代表的な原著論文情報】

- Novientri, G., Takeda, K., Duan, L., Hengphasatporn, K., Shigeta, Y., Xie, C., Mashima, T., Hirota, S. Apoprotein Intermolecular Interactions and Heme Insertion for 3D Domain Swapping in Myoglobin. ACS Omega, 10, 7039-7047 (2025).
- Fitriana, W., Sakai, T., Duan, L., Hengphasatporn, K., Shigeta, Y., Mashima, T., Uda, T., Hifumi, E., Hirota, S. Experimental and Computational Studies on Domain-Swapped Structure Stabilization of an Antibody Light Chain by Disulfide Bond Introduction. *Journal of Medicinal Chemistry*, 67, 22313-22321 (2024).
- 3) Duan, L., Hengphasatporn, K., Sakai, T., Fujiki, R., Yoshida, N., Hirota, S., Shigeta, Y. Why is Dimeric 3D Domain Swapping in Antibody Light Chains Missing from the Solution? Atomistic Insights Mechanisms. *Journal of Physical Chemistry B*, **128**, 9086–9093 (2024).
- 4) Mashima, T., Yamanaka, M., Yoshida, A., Kobayashi N., Kanaoka, Y., Uchihashi, T., Hirota, S. Construction of Ligand-Binding Controlled Hemoprotein Assemblies Utilizing 3D Domain Swapping. *Chemical Communications*, **60**, 9440-9443 (2024).
- 5) Novientri, G., Fujiwara, K., Mashima, T., Matsuura, H., Ogata, H., Uchihashi, T., Fujii, S., Sambongi, Y., Hirota, S. Construction of a Cyclic Regular-Triangle Trimer of Cytochrome *c*<sub>555</sub> with a Central Hole Using Sortase A. *Chemistry A European Journal*, **31**, e202404736 (2025).